

第 118 回日展

第 2 科（洋画） 特選授賞理由

題名

室内、鏡

作者名

相本英子

授賞理由

室内風景が奥にある鏡に映り、手前側の実像に対する映り込み側の虚像との対比が見る者に異質な空間を感じさせ、新鮮で新しい画面の面白さを感じさせ、又、室内静物画としての静謐さのある品格もそなえた力作です。

陽光

岡島真希

授賞理由

生き生きとした色彩の美しさが一番の魅力で、多彩な色面が画面全体で高純度に調和している。穏やかに差し込む陽光の中で遊ぶ子どもの、何気ない日常の一瞬を永遠の情感に昇華させた、瑞々しい秀作である。

red light

亀山裕昭

授賞理由

広く取った手前の道路はその見事な描写力によってリアリティを与えられ、寂寞とした都会の空気までも表現されている。心の隙間に共鳴するような世界観を持った優れた作品である。

光射すオリーブ

北川直枝

授賞理由

瀬戸内の丘陵地に根をおろすオリーブ。日差しの輝きとともにどっしりと深みのある量塊が描かれている。見事な描写力によって樹々の生命力までも感じさせる優れた作品である。

愛馬の日

桐生義也

授賞理由

木版画の伝統を生かしながら独自の斬新な表現で迫力ある作品となっている。動物をずっとテーマとして制作しているが、今作品は馬を題材に画面構成も白黒の色彩も充実しており、特選に相応しい力作である。

題名

時の調べ

作者名

才村 啓

授賞理由

この作家はモチーフを前にそれを昔ながらの方法で写生しています。一見地味に見える画面も自然が作ってくれた色には深みがあります。また生き生きとした筆触が絵に生命感を生んでいます。

静謐・ラヴィ ブリヤント

永山秀男

授賞理由

作者が長年にわたり追求してきた聖人の彫像で、誠実な鍛錬の積み重ねの成果として結実した。堅牢な構成と抑揚豊かなマチエールにより、重厚感ある画面と神秘的な物語性を創出した。力強い秀作である。

大道芸人

樋口文子

授賞理由

大道芸人とあやつる玉に大きな動きを出し、緊張感ある線が画面を引きしめている。長年大道芸人の作品を手掛けているが、集大成とも言える作品である。

静寂の刻

松井茂樹

授賞理由

テーマに基づくモチーフが巧みに配置され、又、色調の扱いなども見事にコントロールされた明快な構成力を感じる秀作です。特に中心となっている女性像が単なる描写を超えた表現となっているのが魅力的です。

門出

山本大貴

授賞理由

幻の世界のような美しさと、直に見た実感が入り混じった作品である。圧倒的な描写力はそこに臨場感も作り出している。映像に囲まれながら育った若者の自己の感性と正直に向き合うことで生まれた作品だ。